

東海道新幹線新駅委員会記録

| | |
|-------|---|
| 開催年月日 | 令和元年 12 月 9 日 (月曜日) |
| 開催時間 | 午前 9 時 00 分～午前 9 時 34 分 |
| 開催場所 | 第 1 委員会室 |
| 出席委員 | 岸本委員長 小泉副委員長 中川委員 柳下委員 山田委員 天利委員 吉田委員 黒沢委員 関口議長 |
| 欠席委員 | なし |
| 説明者 | 廣田拠点づくり部長 皆川倉見拠点づくり課長 川部主査 |
| 案件 | 1. 新幹線新駅誘致とツインシティ倉見地区まちづくりの経過等 について 2. その他 |
| 議会事務局 | 新藤議会事務局長 亀井議会事務局次長 波多野主任主事 |

午前9時00分 開会

【岸本委員長】 皆様、おはようございます。ただいまより東海道新幹線新駅対策特別委員会を開会いたします。

先週までで常任委員会の審査も終わりました、本日より特別委員会の審査となります。先週から、めっきり寒くなりました。私も、本日も自転車で登庁いたしましたが、その前に中川議員も登庁していましたが、これからインフルエンザもはやっているようでございますので、しっかりと体調はご留意いただいて、最終日までの審査をお願いいたしたいと思っております。

それでは、本日の案件でございますが、その他を含め2件でございます。

それでは、執行部が入室するまで暫時休憩といたします。

【岸本委員長】 それでは、休憩を解いて会議を再開いたします。

執行部から説明を求めます。

廣田拠点づくり部長。

【廣田拠点づくり部長】 拠点づくり部拠点づくり課所管の事務経過についてご報告させていただきます。報告に当たりましては、皆川課長より行いますので、よろしくをお願いいたします。

【岸本委員長】 皆川倉見拠点づくり課長。

【皆川倉見拠点づくり課長】 おはようございます。それでは、前回10月4日の特別委員会以降の経過等につきましてご報告させていただきます。経過については、タブレット01新幹線新駅誘致とツインシティ倉見まちづくりの経過等に基づきご報告させていただきます。ご報告の中での資料のページ番号については、タブレットの資料のページ番号でご案内させていただきますので、よろしく申し上げます。

まずは、10月28日でございます。地元組織であります東海道新幹線新駅誘致地区周辺まちづくり連絡協議会の第2回役員会が、倉見地域集会所で開催されました。後ほどご説明します協議会第2回幹事会開催に向けての事前確認でございます。講演会の内容の紹介や今後実施を予定しているブロック協議会の進め方などについて意見交換を行いました。

続きまして、11月14日には、県期成同盟会幹事会が横浜市波止場会館で開催されました。PDFファイルは02の資料1ページから7ページに当日の資料をおつけしておりますが、本年度の事業実施状況並びに来年度の予定についての情報共有でございます。

続きまして、11月17日は、さむかわ中央公園で開催されました第35回寒川町産業まつりで、ツインシティを紹介するパネル展示など、普及啓発をブース出展により県駐在事務所とともに行っております。

続きまして、11月18日には、地元連絡協議会の第2回幹事会が倉見地域集会所で開催されました。当日は2部構成で、第1部は、まちづくりの住民参加をテーマに講演会を実施しております。この講演会は、幹事さん向けの勉強会として、まちづくりのコンサルタントを招聘し、他地区のまちづくりにおける地元組織の活動にフォーカスを当て、今後協議会の皆様がまちづくりへの検討に臨むに当たっての参考としていただけるよう実施していただいたものでございます。

申し訳ございません。当日はスライドのみの紹介でしたので、お手元に資料がございませんが、概要については口頭で説明させていただきます。

講演内容については、藤沢市の健康と文化の森地区と横浜市金沢八景駅東地区の2つのまちづくりの事例紹介に関するもので、藤沢市の事例では、慶応義塾大学周辺の約40ヘクタールの検討で、当初の行政側からのまちづくり提案から、地元住民の意見反映による区域検討、そして勉強会を経て、ま

ちづくり組織設立に至るまでの経過が紹介され、今後は代表的な地権者の集りによる素案づくりが検討されていくというものでございました。また、横浜市の事例につきましては、2.3ヘクタールほどの商業街区での駅前広場整備を伴った土地区画整理事業でございますが、事業をしている中で、にぎわいを継続していくためにお祭りなどで地域を盛り上げる取り組みから、造成後の建築物にルールを設けるまちづくりガイドラインなどの策定など、整備後の町の運営について、エリアマネジメントなどの検討が行われているという事例でございました。

講演後の質疑では、藤沢市の事例で、少数に絞られた代表者組織での素案づくりの趣旨を尋ねられ、代表者の中でも責任を負わされる心配を持つ方もいられましたが、全体に相談して決定することはなかなかまとまらないので、少数の代表者とたたき台案をつくり、全体に諮っていくもので、代表者に決定権を与えたものはないとお答えがされておりました。また、会長からは、新幹線新駅の誘致という特殊事情を抱える倉見地区において、行政や住民にアドバイスを求められ、講師からは、新駅の設置に当たっては行政側で解消すべき課題はあるが、並行して、まず住民の皆様がどういう町にしたいかという地元要望などを早い段階から取りまとめることが今できることではないかという意見がなされております。

幹事会の第2部としましては、今後実施を予定している町内会、生産組合などのブロック単位での対話の場となるブロック協議会の開催、進め方などについて意見交換いたしました。

これまでの取り組みと現状について、より理解を深めていただくとともに、今後まちづくりプランのたたき台に対して意見を出していただける環境づくりに資する説明など、対話を通して機運醸成などを図ってまいりたいと考えているところでございます。

資料は、経過に戻りまして、11月20日でございます。神奈川県、平塚市、寒川町の三者で構成するツインシティ整備調整協議会が平塚市役所で開催されました。役場内にあります県の駐在事務所における本年度の事業実施状況、来年度の予定についての情報共有でございます。

続きまして、11月25日には、県期成同盟会によるJR東海への要望活動がJR東海品川ビルで行われました。

資料は、02の8ページに当日の出席者一覧をおつけしております。県からは都市部長、地元として平塚市からは副市長、町からは不在の副町長にかわりまして廣田拠点づくり部長が出席しております。

続きまして、11月25日から12月1日にかけて、県期成同盟会主催の絵画コンクールの作品展示が町民センターで行われました。寒川町の児童の入選作品については、PDFファイル資料9ページ、10ページにおつけしております。なお、入選者については、12月1日に表彰式がとり行われたところでございます。

最後になりますが、11月27日には、期成同盟会による県内選出の国会議員及び関係省庁への要望活動が実施され、担当職員が対応しております。参考資料としてPDFファイル11ページに要望先一覧をおつけしております。

記載された内容の報告は以上となりますが、加えまして、JR東海との対話についての状況でございます。かねてより調整してまいりましたJRからの助言を求める場といたしましては、今月末に第1回として技術的助言をいただく会を準備しているところでございます。この結果につきましては、相手の意向もでございますので、全てとはいかないとは思いますが、進捗状況については、県と相談しながら、お伝えできるものはご紹介してまいりたいと考えておりますので、よろしく申し上げます。

以上で報告を終わります。よろしく申し上げます。

【岸本委員長】 説明が終わりました。質疑のある方は挙手にてお願いいたします。

山田委員。

【山田委員】 11月20日にツインシティの整備調整協議会が平塚であったと思いますけど、特に平

塚側の進捗状況という話はあったのでしょうか。

【岸本委員長】 皆川倉見拠点づくり課長。

【皆川倉見拠点づくり課長】 平塚の状況ということなんですけれども、今現在は既に立地企業も順調に決まっておりますので、129号線の西側に三井不動産の物流施設が竣工したという状況は聞いております。今後また物流だとか、各施設等が建設していくという状況でございまして、まだイオンさんについては、今後の状況をご説明いただけるものと思いますけれども、今現在のところは、平塚市は粛々と整備が進んでいるという状況でございました。

以上です。

【岸本委員長】 他にございますでしょうか。

中川委員。

【中川委員】 1点だけ。最後にお話しされたJR東海からの技術的助言というところで、例えば何か具体的な内容というのでしょうか、どのような技術的助言をもらうのですとか、そういったところというのは、現時点では何か具体的なものというのはいかがでしょうか。

【岸本委員長】 皆川倉見拠点づくり課長。

【皆川倉見拠点づくり課長】 JRの助言につきましては、いろいろ町が聞きたいところもあるんですが、いきなり最初からあれもこれもという形で盛り込むことができないという状況ですので、また一方で、JR東海からは、まだ駅の判断ができない中で、具体的な話ができないという話を、調整している県から聞いているところですので、どういった内容をご相談できるかは、当日行ってみないとわからないんですが、町側としては、まずは、まちづくりエリアをある程度具体的に地元の方に示していくためにも、JRがどれだけあの区域内で用地を欲しいのかといいますか、線増部、あとは駅舎によりましては、駅舎分の面積が必要になる場合もございまして、そういったJR側の必要とする規模を聞いていきたいなと思っておりますし、あとは線路を増やす関係で、同盟会として線路のいろんな整備上の課題だとかがあると思いますので、そういった部分がお聞きできるのかなということを期待しているところでございます。

以上です。

【岸本委員長】 中川委員。

【中川委員】 新幹線の倉見新駅が実現した場合、まちづくりと同時に、またそこへのアクセスというのでも重要になってくるのかなと思うんですけど、ツインシティ橋で平塚の対岸側からというものもあるかもしれないですし、また相鉄いずみ野線の延伸計画だったり、自分の一般質問にひきつけて言うと、相模線の輸送力増強の問題があったり、そういう交通アクセスの面もあるのかなと思いますけど、そうしたのも、ここは踏み込み過ぎかもしれないけど、具体的な助言という中に出てき得るものなのかどうか、そういったところについてはどのようにお考えでしょうか。

【岸本委員長】 皆川倉見拠点づくり課長。

【皆川倉見拠点づくり課長】 JRのかねてからの要望に対する回答については、駅を判断するに当たっては周辺の都市形成を十分考慮しますと言われておりますので、そういった部分については、確かにJRとしては関心を持たれているんですけども、今申し上げられた3点につきましては、具体的な話は聞いていないのかなという状況でございまして、交通アクセスだとか都市基盤、まちづくりという形のキーワードは、過去にも出ているやに聞いてはおりますけれども、具体的な話については今後になるかと思っております。よろしく申し上げます。

【岸本委員長】 他にございますでしょうか。

黒沢委員。

【黒沢委員】 今JRの助言の話が出ましたけれども、まず、どういうメンバーがこの話し合いに

参加されるのか、その辺が決まっていたらお聞かせいただきたいのと、どのぐらいのペースでこれを行っていくのかということと、それから、JRからの助言を今後町が地元に対してどういう形で生かしていくのか、その辺をお聞かせいただけますでしょうか。

【岸本委員長】 皆川倉見拠点づくり課長。

【皆川倉見拠点づくり課長】 3点ご質問いただきまして、1点目の参加者については、現在のところは、担当者レベルという形で受けておりますので、町側としては、部長以下我々課の職員で対応してまいりたいというところ、また県についても、恐らく課長以下担当者で何うというところ。相手側につきましても、今わかっているところでは係長さん以下という形だと思いますけども、技術的な部分を教えていただける担当者ということで聞いておるところでございます。

2つ目の今後どういった間隔で、ペースで会えるかというのは、まだ今のところ、第1回を始めてみないとわからないというのが正直なところでございます。こちら側としては、コンスタントに年に数回ぐらいは会えるような形がいいんですけども、JRさんもかなり忙しいといえますか、要望活動も2回しか今現在受けていただけない状況ですので、それ以上はやっていただきたいと思っておりますけど、こちら側としても、それに対応できる材料を持っていかないとけませんので、それは十分精査しながら、県と相談してJRさんの都合を聞いていきたいと思っております。

3点目の地元への生かし方ということなんですけども、まず聞いた内容については、先ほどお話しさせていただきましたJRが求める規模がある程度見えてくれば、町側としても現在検討している土地利用計画のゾーニングイメージから具体的な土地利用計画へ円滑に移行できるかなというところでございますので、具体的な面積を割り出すための材料としていきたいというところ。

あと、地元へのアピールの仕方としては、こういったJRとの接触ということ自体をアピールすることで、ある程度今までなかなかJRさんは口が重かった部分が、具体的に会っていただいているという姿こそが、地元へのアピールになってくると思いますので、そういった部分をご説明しながら進捗状況、お伝えできることをお伝えしながら、JRさんもできることは考えているんだよということイメージしていただけるような形で我々は説明していきたいと思っております。

以上です。

【岸本委員長】 ほかにございますでしょうか。

柳下委員。

【柳下委員】 次期総合計画の中で振り返りが今行われて、新幹線新駅の達成度がわずか1%という振り返りの数字でした。そこで何がこんなに低いのかということで、先ほど住民の新幹線新駅が来ることによるまちづくりの気運の醸成に努めるとおっしゃられたんですが、まさに町民の方からの熱気というものも、私たちはあまり感じられない状況だと思います。それで、おっしゃられた機運の醸成に努めるということで、具体的にどのような形で機運の醸成に努められるのかについて伺いたします。今までポスターとか、いろいろな横断幕とかをなさって、要望活動もなさっているにもかかわらず、現状に鑑みて今後どのようなことで設置に向けて努めていかれるのでしょうか。

【岸本委員長】 皆川倉見拠点づくり課長。

【皆川倉見拠点づくり課長】 平成9年に新駅誘致の一本化がされて以降、20年以上たった状況でございます。決定当初は、まだJRがつくるともつくらないとも言われない状況で、自治体側から駅誘致をするんだというところで頑張っているところなんですけども、いかんせん、JR東海さんの判断によらないと、駅が実現しないという状況並びにまちづくりも進んでいかないという状況でしたので、どうしてもその辺については、行政側もなかなかそれをアピールする部分が少なかったのかなという状況で我々も判断しているところでございます。

今後につきましては、先ほどからご説明しているとおり、JR東海さんも、ある程度まちづくりを意識したお話をさせていただけるのではないかと我々の期待感もございますので、そういった期待感を地元の方にお示ししながら、また冒頭我々で説明させていただきました連絡協議会の、今、役員会、幹事会、代表者のレベルまでは会合しているところなんですけども、今後具体的に各代表者が組織しております町内会だとか、生産組合の方々に対して対話の場を設けたいと、また、これは連絡協議会からの要望でもございますので、具体的に各ブロックごとのお話をしあって、その中でより今の情報を具体的に皆さんに伝えていながら、それぞれの意識レベルを上げて、今後我々がお示するまちづくりの提案等について意見を述べてもらえるような環境整備に努めたいと思っておりますので、そういった部分でまずは地元の底上げと、あわせて地元の状況について町内外周辺の方々にもお知らせできるような手法を考えて、実施していきたいと思っております。

以上です。

【岸本委員長】 柳下委員。

【柳下委員】 地元の方へのアプローチとして、今おっしゃってくださったようなことをやっていきたいということでもありますけれども、大事なことは、行政としてアピールポイントというのがあると思うんです。新幹線新駅が今はこういう状況だけど、設置することによって地元がこうなるという、そういった具体的な案をお示しになって、それで皆さんにご理解いただいて、私たちもぜひ協力しましょう、やってみましょうということが私は機運の醸成につながると思いますけれども、今現在町として地元でどういうアピールをなさろうと考えているのでしょうか。

【岸本委員長】 皆川倉見拠点づくり課長。

【皆川倉見拠点づくり課長】 地元の各組織の皆さんと具体的な話をすることによって、いろんな過去の鉄道駅の事例をお示ししながら、そういった部分を研究しながら、こういった駅ができると、どれだけ我々、地元の方々、ひいては町民の方々にどういったメリットが及ぶのかということをお示ししていくことが必要かと思っております。例えば新幹線は、リニアに次ぐ広域交通になりますので、単純計算でいえば、例えば寒川から東京までが30分で行けるようになるとか、そういった部分の具体的なお話をしていくと、よりイメージが、自分たちの将来の生活に対するイメージが湧くものと考えておりますので、夢の部分ですけれども、そういった部分を皆さんと共有できればいいかなと思っております。

以上です。

【岸本委員長】 柳下委員。

【柳下委員】 ぜひとも、たればの話に終わらないようにしていただきたいのですが、つまりこれに関して住民の多大な税金を投入するということも踏まえて、その税金が皆さんのところにどれだけの効果というか、有効性がもたらさせるのか、そういった面も含めて説明が必要かと思っておりますが、その点についてのご見解はいかがですか。

【岸本委員長】 皆川倉見拠点づくり課長。

【皆川倉見拠点づくり課長】 当然今現在フルスペックで考えれば、莫大なお金がかかるという形は予想にかたくないところでございまして、そういった部分も、まず地元の皆様に示す前に、町内、県等を通じて財政計画だとか、資金計画を踏まえた上でやっていきますし、それに費用対効果だとか、事業性についても十分精査した上で、実施に向かっていくところになると思っております。ただ、そればかりに固執してしまいますと、計画が委縮してしまう部分がございますので、地元の方々とはまず、先ほど申し上げましたように、どんな町がこの地区に必要なのかということ議論しながら、行政側ではそれに応じた効果に見合った財政計画をしっかりと立てる必要があると思っておりますので、そういった部分は慎重に取り組んでいきたいと思っております。

以上です。

【岸本委員長】 他にございますでしょうか。

天利委員。

【天利委員】 1点だけ教えてもらいたいんですが、皆さんから出ていらっしゃると思うんですけども、前回からJRさんから町についてのことで、前向きにということでお話をいただいている中で、今回これからJRさんとの協議会みたいなものをつくり上げているということなんですけど、先ほど報告の中で、素案というのが一番大事だというお話を、早目に決めたほうがいいというお話をいただいているということはあるんですが、勉強会、研修会のところですよ。町としては、まずは町の何人かでJR東海に行って、そういった打ち合わせをするという中で、協議会とのまちづくりについての素案というんですか、どうやって連携をつけて、まちづくりの素案をJRさんに示していくのか、それを教えていただきたいのと、当座は多分町の方々、行政がJRとの話し合いになるんでしょうけども、最終的にはまちづくりの協議会のあるメンバーもそこには参加しなければいけないのかなという思いがあるんですが、そういった考えというのはあるんでしょうか。それについて。

【岸本委員長】 皆川倉見拠点づくり課長。

【皆川倉見拠点づくり課長】 JRへの素案の示し方というのは、まず県と町であるべき姿と申しますか、行政側で考えられる素案をたたき台として示しながら、JR側の意向を反映したと申しますか、ある程度意向に沿った図面をつくった上で、地元の方にお示ししていくのかなとは考えているところがございます。JRの今後の地元への関与の仕方というところなんですけども、この近辺でも新駅をつくらうとしている例えば藤沢市の村岡ですとか、そういった部分についても、JR東日本さんが組織に加わったりというところもございますので、これはまだはっきりしたものではないんですけども、JRさんも地権者になりますので、ある程度区域が定まって手法の具体的な方向性が見えた段階で、鉄道業者さんもそういった組織に加わっていただく必要はあるかなと思いますけども、まだこれについては先の話になりますので、ここまでとさせていただきます。済みません。

【岸本委員長】 他にございますでしょうか。

吉田委員。

【吉田委員】 1点だけ把握されていたら教えてください。本年度倉見のまちづくりというか、新幹線誘致にかかわるところで、例えば企業であったり、お店であったり、出店のお問い合わせみたいなものが町にあったら教えてください。

【岸本委員長】 皆川倉見拠点づくり課長。

【皆川倉見拠点づくり課長】 具体的に出店のお問い合わせというのはないんですけども、何かのついでだと思うんですが、企業さんが新幹線新駅誘致地区周辺のまちづくりについて、お問い合わせを受けるところはございます。ただ、それについても、出店を考えると、そうじゃなくて、周辺での立地だとは思いますが、具体的にこの地区での出店というのじゃなくて、近くで出店計画を考えているんだけどという形でお話を伺ったことは数件ほどございます。具体的にこの倉見地区での出店というお話ではございません。

以上です。

【岸本委員長】 吉田委員。

【吉田委員】 数件とはいえ、寒川町に出店、もしくは興味を抱いてくださっている企業さんがいらっしゃることは把握しました。そういった際に、そういったご説明をされているのか教えてください。

【岸本委員長】 皆川倉見拠点づくり課長。

【皆川倉見拠点づくり課長】 通常地権者さんにもご説明している内容と同様でございます。誘

致に関するJRの意向だとか、地元組織の活動状況、あるいは行政側での調整等について、こういう状況ですと、あくまでも現状のお話でございまして、相手方さんも、リニアの話とかをこちらがすると、まだですものねみtainな形で、そういったお返事をされて、お帰りになられるという状況でございます。

以上です。

【岸本委員長】 それでは、質疑が終了いたしましたので、案件1を閉じさせていただきます。お疲れさまでございました。

暫時休憩いたします。

【岸本委員長】 休憩を解いて会議を再開いたします。

それでは、案件2、その他に入りますが、委員の皆様から何かございますでしょうか。

黒沢委員。

【黒沢委員】 地元でさまざま研修会という形で勉強会をやっていると、その内容については、まちづくりの基本的な考え方ですよ。その辺は我々議員としても押さえておかなきゃいけないのかなと思うんです。地元の幹事会等に我々が参加するというのは、そぐわないと思うんですけども、この特別委員会の中でそういった基本的なまちづくりに対する考え方というのは、我々議員としても、何らか研修なり勉強会を行っていったほうがいいのかと思うんですけども、その辺を担当と調整する中で、どういう形でできるか、やったほうがいいのかと思うんですけど、私は、どういう形でできるかというのを担当とも相談して、そういう機会を設けていただければなと思うんですけども、いかがでしょうか。

【岸本委員長】 ただいま黒沢委員から、委員会内での勉強会の提案がございましたが、皆さん、いかがでしょうか。もし必要であれば正副に一任していただいて、担当課と折衝して、頃合いを見て我々の中の勉強会ということによろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

【岸本委員長】 それでは、正副一任ということで担当課と相談しまして、日時等をまたお示しいたしますし、またどのような勉強ができるかというの、もう一度皆様にお示ししたいと思いますので、その際はよろしくお願ひ申し上げます。何かそのほかにございますでしょうか。

(「なし」の声あり)

【岸本委員長】 なければ、事務局から何か。

(「なし」の声あり)

【岸本委員長】 それでは、その他も閉めさせていただきます。

最後に、副委員長から閉めの挨拶をお願いいたします。

【小泉副委員長】 それでは、本日も、非常に熱い議論を皆様、お疲れさまでございました。

それでは、これにて東海道新幹線新駅対策特別委員会を終了とさせていただきます。お疲れさまでした。

午前9時34分 閉会

寒川町議会委員会条例第27条の規定により、ここに署名する。

令和2年2月7日

委員長 岸本 優